



西新井中学校

ワクワク
WKWK

「二年連続都大会優勝！」

発案、製作、操作、記録など、少ないメンバーが一人何役もこなして臨んだ『ロボコン』。西新井中学校WKWK(ワクワク)は、二年連続東京都大会で優勝を果たし、関東大会、全国大会にも出場。「誰か一人欠けても成し得なかった。全員で勝ち取った」とリーダーの渡邊さん。一方、メンバーは「リーダーが研究熱心で、真面目。彼がいたからこそ頑張れた」と互いをたたえ合う息もびったり。

そんな彼らの将来の夢は、エンジニアやプログラマーになること。「大好きな寿司やハンバーグを作るロボットを発明したい」と、笑顔で語ってくれました。



さいとう 齋藤 琢磨さん(当時三年生) わたなべ 渡邊 輝さん(当時三年生)
はやかわ 咲紀さん(当時三年生) からさわ 唐沢 望来夢さん(当時三年生)

「切磋琢磨したい」

都大会を制した彼らにも大きな問題が。それは部員の数が少ないこと。そのため「ロボットの試作品が少なく、性能を比較することができない」と悩みを打ち明けてくれました。「もっともっとたくさんの方が入部して、みんなで楽しく切磋琢磨したいので、教育だよりを見て、少しでも興味を持った方、入部をお待ちしております！」

ロボットコンテスト

チームで製作したロボットを操作し、制限時間内にブロックをいくつ積めるかを競う。競技内容は年度により異なるため、大会内容に合わせ、ロボット製作を試行し、練習を重ねる。

西新井中学校WKWKが製作したロボット▶

のびーる君

第71回 東京都中学校英語学芸大会 英語劇

優勝

千寿桜堤中学校第三学年有志



「ジミー・バレンタイン」を熱演

「スタートライン」

「ここはスタートライン。都大会優勝こそ、みんなが決めた最終的なゴール」と、区大会優勝後、気の緩みがあったメンバーに対し、先生が喝を。その一言で、「舞台に立つ以上は演技に集中」と心機一転し、伝えたいテーマを再確認したり、見る側の立場を考え、意見を出し合ったりしました。

「この二人は恋人同士、この二人は友達同士」など、台本にはない設定や動きといった細かい部分まで、みんなでとことん話し合い、物語の魅力を高めるための工夫を重ねました。一人ひとりの努力の末、「ジミー・バレンタイン」という一つの作品が完成。最終ゴールと定めた都大会で見事に優勝を果たしました。

「人は変わる」

「大泥棒の男が、ある女性との出会いを通じて、改心する物語」を英語で演じることに挑戦した生徒たち。「以前は、人前に立つことが苦手だった。大勢の前で何かをすることは恥ずかしいって…でも、そんな自分から脱皮したくて英語劇に▶

チャレンジ。徐々にできると思うようになってきた。そして、仲間がいたからこそ最後まで続けることができ、やり遂げたことが大きな自信につながった」と、自身の変化について、笑顔で語ってくれました。



つばた 尊大さん
(当時三年生)



きくuchi 凜生さん
(当時三年生)



むらかみ まことさん
(当時三年生)

Information

すげいね! あだちのこどもたち 学校支援課 庶務係 ☎ 3880-5961

表紙も読んでね♪